

北九州市立清水小学校 平成28年11月25日

きよみず

学校だより 学力特集号

北九州市立清水小学校
校長 中原 健 治



学校教育目標
やさしさを持ち、たくましく生きる子どもの育成

〇めざす子ども像

- ・自分も他人も大切にし、仲間とともに高まる子ども
- ・すすんで学び、主体的に考え判断する子ども
- ・ねばり強く最後までやりぬく子ども
- ・健康で安全な生活のできる子ども

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

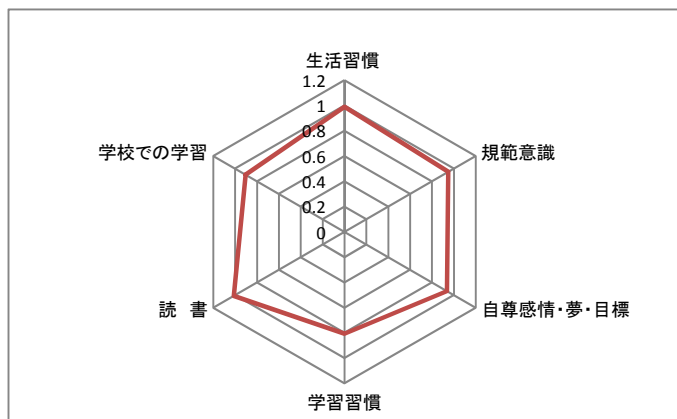
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語 A	基本的な学習の定着のために、まずは、繰り返しの漢字の練習、読書、辞書をひく等の基本的な学習を繰り返す必要がある。また、ローマ字の読み書きも、当該学年だけでなく、パソコンでのローマ字入力等で、慣れ親しませる必要がある。	下回っている
国語 B	目的や意図に応じて、複数の本や文章などを選んで読んだり、資料を基に自分の考えを書く力に課題がある。長文に慣れ、どこが尋ねられていることか、必要なことは何かを判断する力が必要である。	下回っている
算数 A	基本的な計算力については、取組の成果がでてきているようであるが、除数が少数のわり算や分数の計算は繰り返し練習し、定着を図る必要がある。単位量あたりの大きさは、関連する単元でしっかり押さえ習熟を図る必要がある。	下回っている
算数 B	問題の意味を考え、求める解のために、ほかの必要な情報を判断し特定することに課題がある。資料の読み取りや、資料から問題を解決するために必要なことを判断する力が必要である。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



- ・読書に親しんでいる児童の割合は全国平均よりもやや多い。これまで読書活動に取り組んできた成果のひとつではないかと考える。
- ・学習習慣としては、宿題はするが自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が全国平均よりもかなり低い。学習規律の徹底や家庭学習の取組ませ方について、職員の共通理解と学年に応じた系統的な取組みの実施が必要である。
- ・学校での学習で、課題に進んで取り組むことや、話し合い活動を行って自分の考えを深めたり広めたりしている割合は全国平均よりも10ポイント以上低かった。興味関心の持たせ方の工夫や、学習形態の工夫などの授業改善が必要である。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ◎学力向上のための特設時間の実施
 - ・火曜日と木曜日の朝の活動を「学力チャレンジタイム」とし、特に木曜日は学力アップのための「ぐんぐんタイム」と銘打ち全校一斉に算数の基礎練習問題に取り組む。学習したものは、各自のファイルに記録させ、伸びを実感させる。
- ◎子どもの理解を深めるための授業づくり
 - ・課題解決の進め方や話し合いの仕方など「学び方」の指導を継続的に行うとともに、書画カメラや電子黒板等のデジタル機器およびデジタル教科書等を活用することで、学習中に子どもたちの視線や意識を集中させたり、学習内容の理解のしやすさにつなげたりする。
- ◎「書く」ことを習慣化
 - ・学習の中で、自己の考えを決められた時間にまとめられるように書く習慣をつける。
 - ・学習の最後を「振り返りタイム」として、振り返りを書くようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎家庭学習のスタンダード化(時間、学年別・教科別内容)
 - ・家庭学習時間のめやすを(学年×10分)程度とする。
 - ・校内で作成した「家庭学習の手引き」について通信や懇談会等で知らせる。
 - ・懇談会やPTA理事会などの機会に「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用し、家庭学習の意義や取組み方などについて伝える。
- ◎全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知
 - ・児童質問紙の内容で重点的に取り組むものを抜粋して、全児童にアンケートを実施することで、課題を明確にし、職員の共通理解のもとで課題解決に取り組む。
 - ・学校だよりや学校HP、家庭教育学級等で結果と取組を説明し、家庭と連携し協力体制を整える。